

ISIL

図書館および 関連組織のための 国際標準識別子

ISO 15511 International Standard Identifier for Libraries and Related Organizations

ISILとは何ですか？

国際標準化機構の国際規格(ISO15511:2009)で定められている、世界中にある図書館やその関連組織に付与するIDの規格です。「アイエスアイエル」「イシル」と読まれています。ドイツ、フランス、イギリス、韓国、アメリカなど多くの国でISILが使われています。

どんなIDですか？

日本国内の図書館や関連組織に付与されるISILの体系は、右のとおりです。

(このほか、申請された組織の情報をISILのIDとセットで管理します。)



何に使えますか？

ISILは、一緒に管理される「登録組織・機関の基本情報」と組み合わせることで、日本国内の図書館および関連組織を一覧できるデータベースになります。

ISILの情報は、図書館や博物館、美術館などのサービスや、コンテンツ・流通ビジネスなどで自由に利用できます。例えば 図書館や博物館の資料貸借、Web上のコンテンツ配信、OPACなどのデータベース、登録機関のID管理、国際的出版業、ICタグなど、幅広い分野でISILを活用していただけます。

Q&A

❓ ISILの登録や維持に費用はかかりますか？

❗ 登録費や維持費は不要です。

❓ ISILの維持管理は誰が行うのですか？

❗ 図書館と図書館に関連する組織のISILは、国内登録機関である国立国会図書館が事務局となって維持管理します。

❓ どうやったら新規登録できますか？

❗ 平成23年10月時点では、国内の図書館に事務局でISILを割り当てて初期登録し、各館にお知らせします。10月以降の登録、変更、削除方法は、「ISILのページ」に掲載します。

❓ ID以外の情報はどうなりますか？

❗ 組織名や所在地などの基本情報は、データベースで管理します。

❓ 組織の基本情報は公開されますか？

❗ はい。登録組織・機関の基本的な情報は、国立国会図書館ホームページにある「[ISILのページ](#)」で無料公開し、随時更新します。

図書館以外の組織も登録できますか？

❓ はい。ISILは博物館、美術館、文書館など
❗ 多くの組織・機関に登録していただけます。

ISILについてさらに詳しく知りたい方は、国立国会図書館ホームページの「[ISILのページ](#)(<http://www.ndl.go.jp/jp/library/isil/>)」をご覧ください。

「ISILのページ」は
平成23年10月開設予定です。

【お問合せ先】国立国会図書館 関西館 図書館協力課 (ISIL事務局:光島、兼松)
Eメール: isil@ndl.go.jp / 電話: 0774-98-1200(受付は平日9:30~17:00)